

部の使命	1. 市民満足度の向上を図るとともに、職員が喜びと誇りを持てる職場づくり。 2. 「ひと つなぐ まち」をモットーに安全安心な協働によるまちづくりの一層の推進。 3. 市民文化の創造と振興、並びに伝統文化の保存継承を図る。				
課の使命	本市の管理する世界遺産及び博物館の管理運営や、文化財の維持管理を通して、郷土の歴史・文化の普及・継承を図る。				
分類	項目 部又は課	達成水準(どの水準まで)	達成手段(どのように)	達成度	達成状況、未達成原因及び改善策
組織目標	1. 弁ヶ嶽の文化財指定への申請実施	国指定申請書の年度内提出	県史跡指定地の道路部分の分筆 国指定申請に係る県文化財課調整 指定申請書の提出	達成	分筆業務は平成29年7月に完了した。 具申書(申請書)を作成し、平成29年12月に文化庁及び県文化財課との事前調整を行ったところ、大きな指摘は無かった。その後、平成30年1月に具申書の提出を行った。
	2. 焼物博物館ゲストティーチャープログラムの等の講座、学習機会の提供数の実績増	プログラム等の学習機会提供実績回数の対前年比増	市内小中学校へプログラム等の広報・周知 プログラム等紹介チラシの配布 提供プログラムの調整	達成	前年度15件(出前6、体験2、ゲスト7)、今年度17件(出前9、体験2、ゲスト6)で、前年度比増を達成。
	3. 玉陵の入園者増加	世界遺産解説会の回数を年6回から11回に増やす	世界遺産解説会の回数増 解説会の広報強化 解説者の確保	達成	解説会を5月以降は毎月開催した。 入園者は前年度62,233人、今年度63,221人で前年度比 988人の増となった。
	4. 識名園トイレの洋式化	園内トイレの洋式化	トイレ改造に関する史跡現状変更の要否調整 費用見積もり、予算要求 洋式化工事実施、年度内完了	達成	計画どおりに洋式化工事を実施し、年度内に完了した。